

いつもご愛顧頂きありがとうございます。  
販売促進にお役立て頂きますようこの販売マニュアルを作成いたしました。  
ご活用頂きご商売の一環にお役立てください。

## 381系 100番台 「くろしお」

- 10-1112 381系 100番台 「くろしお」  
6両基本セット 予価 ¥17,000
- 10-1113 381系 100番台 「くろしお」  
3両基本セット 予価 ¥7,000



381系直流特急形電車は昭和48年(1973)に特急「しなの」用として登場したわが国量産車初の振り子式車両です。振り子式機構により、カーブに合わせて車体を傾斜させることで曲線区間でのスピードアップを実現しました。続いて昭和53年(1978)に紀勢本線の特急「くろしお」用に投入された381系は、すっきりとした印象の前面デザインを持つ非貫通先頭車の100番台に、手スリが追設された中間車(モハ380・サロ381)の組合せが特徴です。KATOの381系100番台「くろしお」は、90年代以降も国鉄特急色で活躍を続けていたJR化後の姿をプロトタイプに製品化いたします。

＝JR時代の形態特徴＝

■列車無線アンテナ装備 ■黒Hゴム ■先頭車JRマーク貼付・JNRマークなし ■洗面所窓閉塞

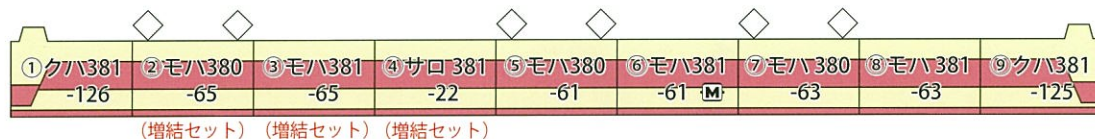
☆「くろしお」の編成はもちろん、今なお国鉄色で活躍を続けて、ファンの注目を浴びている「きのさき」「こうのとりの編成も再現できます。

☆本製品を使用して再現できる各種編成を下記に掲載しました。遊び方のガイドとしてご活用ください。

### 「くろしお」 ←新宮

天王寺→

①JR化以降も'00年まで、国鉄色で最大堂々の9両フル編成で活躍。



②多客時以外は下記の7両編成もよく見られました。



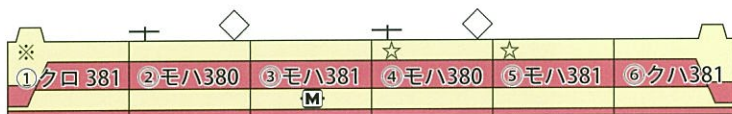
③モノクラスの6両編成も所属、通勤ライナーや波動輸送の編成も基本セットそのまま再現できます。



※①②は国鉄時代の「やくも」でも同様の編成が見られました。バリエーションとしてお楽しみください。

### 「きのさき」「こうのとりの」

④国鉄特急色で現在も活躍中。今大注目の福知山電車区所属編成が基本セットで再現可能！(実車は室内がグレードアップされています)



「きのさき」 ←城崎温泉 京都→  
「こうのとりの」 ←福知山 新大阪→

※外観はクハ381と同等ですので、製品のままお楽しみいただけます。

☆の2両を減車した4両編成がよく見られます。